



2023年7月28日

各位

会社名 株式会社Ridge-i
代表者 代表取締役社長 柳原 尚史
(コード番号 5572 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 中井 努
(TEL 03-4214-8558)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年4月26日に公表した2023年7月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2023年7月期通期業績予想数値の修正

(2022年8月1日～2023年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,000	161	161	113	32.69
今回修正予想(B)	780	70	60	42	12.15
増減額(B-A)	△220	△91	△101	△71	—
増減率(%)	△22.0	△56.5	△62.7	△62.8	—
(ご参考)前期実績 (2022年7月期)	968	56	109	150	40.32

修正の理由

当社の業績予想は、既に契約済みの案件については案件毎に積み上げ、協議及び交渉中の案件については営業の進捗状況やパートナー企業の計画及びコンサルティングファームが当社の前工程を実施している場合はその案件進捗状況を考慮したうえで案件毎に積み上げ、その他の新規顧客については前期の実績値に対して過去の実績に基づく増加率を考慮して見込みを行っております。

ただ直近状況において、第3および第4四半期中に開始を見込んでいた新規プロジェクトの受注がプロジェクトデータ入手に時間を要したことや顧客側の開始時期の変更により失注または遅れが生じており、今期中での売上計上が難しくなったことで案件毎の積み上げ額および過去実績に基づく売上増加率が想定を下回ることとなりました。また、進行中のプロジェクトについては顧客企業の状況変化に応じた追加プロジェクトテーマの設定やアップセル活動に時間を要し営業及びプロジェクト遂行の進捗状況に遅れが生じたことにより、今期に計上予定であった売上の一部が来期にずれ込むこととなりました。これらの要因により、上記のとおり2023年7月期の通期業績は、売上高・利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、遅れていた受注は6月より回復傾向にあり、現時点の受注残(契約締結済みで売上に計上されていない金額)は259百万円(前期末実績126百万円)となっています。また、今後の取り組みとして、新たに始めたChatGPT関連サービス等の立ち上げ※1やLLM等の研究開発など※2の魅力的なサービスの提供を加速することで、受注をより確実に増やしていき業績向上に努めてまいります。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

※1 2023年7月12日プレスリリース

Ridge-i が生成 AI 活用コンサルティングサービスを開始 ～戦略構築からシステムの設計開発、人財育成に至るまで ワンストップでサービスを提供～

<https://ridge-i.com/news/3940/>

※2 2023年7月19日プレスリリース

「安心して使える」国産の生成 AI・大規模言語モデル(LLM)の開発を開始 ～さくらインターネットの GPU サービスを採用予定。2023 年中に生成 AI・LLM のプロトタイプ提供を目指す～

<https://ridge-i.com/news/3953/>

以上

【別紙】

サービス別の売上予想

(単位：百万円)

	修正前	修正後
AI 活用コンサルティング・AI 開発	841	628
人工衛星 AI 解析	90	82
AI ライセンス提供	68	70

費用予想

(単位：百万円)

	修正前	修正後
販売費及び一般管理費	404	400